

平成22年度南砺市協働のまちづくりモデル事業 採択事業一覧 (事業実施期間：計画策定を含めて22～25年度)

申請団体名	北野地区4集落 (城端地域：北野、長楽寺、次郎丸、吉松)	事業区分	⑦地域の活性化を図る事業
地域の概要	<p>【人口】1,041人 【世帯数】304</p> <p>少子高齢化が進み、高齢化率は国や県の平均を大きく上回る。当地区は、城端地域の北部に位置し、兼業農家の多い純農村地帯である。北野天満宮を中心に、神社が7社、寺院が3寺、地藏石仏が26体あり、昔から俳句の盛んな土地であったことから、句碑も数多く建立されている。</p>	地域の現状と課題	<p>現在、北野小学校と保育所跡地である北野公民館（北野ふれあいセンター）を拠点として、子どもから高齢者まで多くの住民が生涯学習と生涯スポーツを楽しんでいる。昭和54年、公民館の指導のもと、スポーツ振興会を設立して、早朝マラソンや元旦マラソン、冬季球技大会、レクリエーション大会等、住民主導で多くの大会の企画と運営を通じ、スポーツの普及と体力づくりを推進するとともに、バレーコートやナイター施設の建設にも取り組んだ。しかし、趣味や余暇活動の多様化、活動リーダーの人材不足などから、活動は低迷し、解消策を見出せないでいる。</p>
まちづくりの基本方向	<p>①スポーツ振興会組織の再構築、新たな人材の発掘</p> <p>②北野地区散策マップの作成</p> <p>③ジョギングコース、ウォーキングコース、散策モデルコースの設置</p> <p>④上記各コースを示す看板の作成と設置</p> <p>⑤“ふるさと再発見！歩いて『ガッテン』北野編”の実施</p> <p>⑥将来的には、マップを中心に子ども地域発見セミナーの開催、ふるさとづくりコーディネーターの育成（養成）、県外の北野地区出身者への「ふるさと北野大使」の任命、機関紙の発行、ふるさと製品の開発と発送等、活動を拡大したい。</p>	事業（活動）内容	<ul style="list-style-type: none"> ●北野地区散策マップ作成の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡及び神社、寺院等の調査 ・ジョギング、ウォーキング、散策モデルコースの設定 ●北野地区散策マップ作成、それを利用した事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・散策マップの作成 ・スポーツ事業の実施（ウォーキング大会、交流球技大会） ・ジョギング、ウォーキング、散策モデルコースの各コース方向看板作成 ●地区振興事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地域発見セミナー開催 ・ふるさとづくりコーディネーター任命と養成 ・「ふるさと北野大使」の任命 ・機関紙発行と発送 ・ふるさと製品の開発学習会の開催 ・「ふるさと北野会」設立と会員募集等

申請団体名	坂上地区 (利賀地域)	事業区分	⑤地域資源を活かしたまちづくり事業 【事業名】坂上よいとこ散策道整備
地域の概要	<p>【人口】121人 【世帯数】36</p> <p>坂上地区は、名刹五穀山西勝寺の門前に、手打ちそばや山菜、岩魚料理を主とした飲食店が立ち並ぶ「そばの郷」を抱え、利賀川の河川敷から山肌に36戸の家屋が点在する地域である。人口は121名で、乳幼児から高齢者までが混在している。少しずつ過疎化と高齢化の波を感じており、ほとんどの世帯が農業を行う兼業農家である。</p> <p>地区の東側には、全国「水源の森100選」となったブナやナラなどの原生林、富山県植樹祭が開催された「望ヶ原広場」があり、森林浴や散策の格好の自然を有する。これまでに「ふれあいの森散策道」が整備され、東海北陸自然歩道のコースとしても位置づけられている。また、「そばの郷」広場から「ふれあいの森散策道」に至る地区内及び途上には、樹齢500年を誇る「坂上の大杉」（県指定）や「坂上の桂」（市指定）などの文化財もあり、訪れる人の目を楽しませている。</p>	地域の現状と課題	<p>これまで、原生林などの森林資源や文化財の保護と整備、そして、「そばの郷」広場の飲食店及び周辺の観光施設を整備するとともに、イベント（山祭り）の開催により地域住民の活力を高めると共に、観光客の誘致を目指してきた。しかし、かつて整備された「ふれあいの森散策道」などの施設や看板等は雪害による破損・老朽化が進み、森林資源はカシノナガキクイムシの大量発生などで痛みが激しい状況となり、訪れる人の期待に答えられなくなっている。一部地域の有志で整備を試みているが、困難な状況である。</p> <p>そこで、改めて地区全体による取り組みで、こうした施設の整備・改修・修繕を進め、森林保護と自然環境の有効活用に努めたい。</p>

<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>●地域づくりの基本方針 これまでも、一般観光客はもとより、農山村交流を積極的に展開する武蔵野市の児童が1週間もの長きにわたり当地区に滞在し、自然や文化の学習を行っており、近年こうした事業の全国展開の機運が高まっている。これらに対応できる地域の魅力を高めるために、「そばの郷」から「ふれあいの森散策道」に至る区域を中心に、地域の再点検を実施し、住民活動により散策道の整備や手作り看板への取換修繕、地域マップの作成などを行う。これらによって、滞在型の自然体験観光の一翼を担い、地域の活性化に結び付けたい。</p> <p>●計画の概要</p> <p>①区内の高齢者、子供たちも楽しく参加できる作業・事業計画とする。 ②自然林散策道を再生・整備する。 ③文化財周辺の整備を行い、学習環境を整える。 ④地域の魅力手づくりマップを作成する。 ⑤子供たちによる鳥の巣箱製作・設置やオリエンテーリングのできる工夫を散策道に施す。 ⑥自然解説員の養成を行うとともに、公民館を森林教室に有効活用する。</p>	<p>事業（活動） 内容</p>	<p>●森林散策道の再生作業</p> <p>①散策道整備 ②看板作成</p> <p>●自然森林教室の開設</p> <p>●手づくり地域マップ作成</p> <p>●じいちゃんと子どもたちの鳥の巣箱製作</p>
------------------------	---	----------------------	---

<p>申請団体名</p>	<p>荒木自治会（福光地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>③伝統文化の保全や復活などの文化振興事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】1,415人 【世帯数】512 JR福光駅東周辺に位置し、外部からの転入者が多く、多様な市民の混在した地域である。伝統文化の保存、継承が次第に困難になっている。</p>	<p>地域の 現状と課題</p>	<p>外部からの転入者が多く、外国人居住者もいて、地域コミュニケーションの増進や地域連帯感の醸成が課題である。特に、荒木の伝統文化である巫女舞や荒木ねつ送り祭りは指導者の高齢化と参加者の減少により、確実な保存と継承が難しく、大きな課題となっている。</p>
<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>①荒木の伝統文化である「巫女舞」や「ねつ送り祭り」を確実に保存・継承するため、将来の担い手である子どもたちを主体に「伝統文化巫女舞教室」及び「伝統文化ねつ送り祭り教室」を開催する。 ②その成果を発表する「太鼓打ちコンクール」や「巫女舞発表会」などを開催し、多くの住民の参加を図り、住民の連帯意識の向上と地域の活性化、更には子どもの健全育成に努める。 ③子どもを主体にすることにより、住民全体への波及効果大</p>	<p>事業（活動） 内容</p>	<p>●伝統文化巫女舞教室の開催 ・講習会開催 ・衣装、道具の更新 ・指導者講習会への参加 ・発表会開催</p> <p>●伝統文化ねつ送り祭りの開催 ・熱送太鼓打練習会開催 ・太鼓打コンクール開催 ・祭り用笹竹作成</p>

<p>申請団体名</p>	<p>塔尾地区（城端地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>③伝統文化の保全や復活などの「文化振興事業」</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】93人 【世帯数】22 高齢化地区が故に、地域の相互扶助の意識が高く、心のふれあい活動を、年間を通して実施している。地区に残る歴史的遺跡を保全活用する事を通しての村づくりの方法を模索しながら、地区の歴史的遺跡を地区民自らが整備し、南砺市の史跡として指定されるよう運動を開始している。</p>	<p>地域の 現状と課題</p>	<p>高齢化地区が故に、地域の相互扶助の意識が高く、心のふれあい活動を年間を通して実施している。地区に残る歴史的遺跡を保全活用する事を通しての村づくりの方法を模索しながら、地区の歴史的遺跡を地区民自らが整備し、南砺市の史跡として指定されるよう運動を開始している。</p>

<p>まちづくりの基本方向</p>	<p>鎌倉・室町時代から存在するという富山県唯一の中世寺院遺跡の長福寺（現専徳寺）を村内に持ち、その歴史的価値の調査及び整備を目指しながらの村づくりを目指す。</p> <p>①協働村づくり組織編制 ②遺跡・史料の調査 ③古老より言い伝えの採集 ④史跡の看板等掲示と保存 ⑤学識経験者の史跡学習会 ⑥調査報告冊子の作成及び広報活動 ⑦南砺市史跡の指定 ⑧史跡の管理保全体制の確立</p> <p>これらの事業を通して、地区の成り立ちを再認識し、村づくりの精神的基盤の一つとして、歴史的遺跡を共同で後世に保全して行くことを目的としたい。</p>	<p>事業（活動）内容</p>	<p>●寺院跡調査学習会の開催 ●古老から旧塔尾跡の言い伝え採集 ●村だより発行 ●史跡古地図の作製 ●寺院跡地の整備 ●郷土学習会開催 ●史跡現地調査 ●文化財指定準備 ●案内板等の設置 ●史跡掲示板設置 ●中世寺院跡地公開講座 ●文化財指定申請書提出 ●史跡保存の体制づくり</p>
-------------------	--	-----------------	---

<p>申請団体名</p>	<p>金戸地区（城端地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>③伝統文化の保全や復活などの文化振興事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】547人 【世帯数】147 純農村地区に新興住宅団地が開発され、非農家が倍増し、地区の共同連帯意識が複雑化、併せて歴史文化の衰微が著しい。</p>	<p>地域の現状と課題</p>	<p>非農家の増加による生活様式の多様化により「心のふれあい」が希薄化し、また、米づくりの工夫・共生の意識と仕組みが失われつつある。村づくりの方法や運営の在り方を見直し、逆らい難き都市志向から、少しでも金戸の気質・風土を再認識し、利己主義から利他主義への新たな村のかたちを思考する。</p>
<p>まちづくりの基本方向</p>	<p>永い歴史に育まれた気質・風土を再生し、共生・協働への意識変革の潮流を方向づける。併せて、団地の金戸をふる里とする子どもの農事参加と農家との融和を進める。</p> <p>①協働村づくり組織編制 ②古文書史料の調査 ③古老より昔物語の採集 ④気質・風土の特徴と啓発 ⑤史跡の看板等掲示と保存 ⑥ふる里新聞の発刊と金戸史草稿 ⑦幼年、児童生徒へ伝統行事継承 ⑧江浚い等の農事へ子供会の体験教室 ⑨昔話を伝承する語り部育成</p> <p>これらの事業を取捨選択して、なぜ歴史的な価値を大切にしなければならないのか、また、様々な立場の人が集い、議論をすることによって、その方向が金戸の歴史から見えてくるものにしたい。</p>	<p>事業（活動）内容</p>	<p>●古文書調査学習会開催 ●言い伝えの採集 ●家庭の史料採集 ●村史新聞の発刊 ●史跡掲示板・古地図の作製 ●村史草稿・発刊 ●郷土学習会開催 ●物語の語り部育成 ●史跡石仏等調査 ●民族習俗の実施調査 ●昔物語絵本作り ●郷土愛を育む子供学習会開催 ●出身者との交流 ●小作争議学習会開催</p>

<p>申請団体名</p>	<p>野田自治会（城端地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>①集落の防犯、防災、福祉など、安心・安全な地域社会形成事業 ④少子高齢化の対策に向けた定住等促進事業 ⑥環境保全、美化、エコなど地球のやさしいまちづくり事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】638人 【世帯数】233 城端駅の南に位置し、Aコープなんとセフレ、ローソン、くすりのアオキ、コメリ、シメノドラッグ等の店舗など、また転入者が多く、最近アパートも徐々に増えている地域であり、今後も建設の計画が予定されている。</p>	<p>地域の現状と課題</p>	<p>・転入者とのコミュニケーション（アパート入居者とのコミュニケーション）が殆んどない。アパート入居者間のコミュニケーションもないように思える。（アパートの管理者を介して連絡している。）防犯・防災上、及び自治体活動に少し支障が出てきている。 ・石綿（アスベスト）障害の対策及び建物除去</p>

<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>「目指すべき野田自治会」（住みよい地域を目指す）</p> <p>①安全・安心な地域(非行、犯罪のない安心して暮らせる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡体制の整備（作成中） ・防犯灯の増設、整備 ・石綿（アスベスト）障害の対策（市・県調査済み） <p>②みんなが生き生きと暮らせる地域（ふれあい広場の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭り [野田フェスティバル：展示、舞台、特別企画、茶室、屋台村（料理） 検討] ・盆踊り ・運動会 ・納涼祭 ・ねつおくり等、みんなが気軽に参加できる地域 ・ふれあいのある（多く持てる機会の提供）地域づくり ・野田地域住民の絆（人と人とのふれあいにより）の醸成 <p>③環境と調和した地域</p> <p>（公園、道路の清掃など、地域の美化活動に力を入れていく。）</p> <p>※現在、みどりネットで活動している。</p>	<p>事業（活動） 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●安心・安全な地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・子供の登下校時・夜間のパトロール実施 ・防犯灯の増設・整備 ・地域ぐるみの交通安全活動実施 ●みんなが生き生きと暮らせる地域づくり（ふれあい広場の整備） <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）野田フェスティバル、盆踊り、運動会、納涼祭、ねつおくりの実施 ●環境と調和した地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・公園、道路、河川等、地域美化活動の実施
------------------------	---	----------------------	--

<p>申請団体名</p>	<p>田中自治会（福光地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>①集落の防犯、防災、福祉など、安心・安全な地域社会形成事業</p> <p>③伝統文化の保全や復活などの文化振興事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】513人 【世帯数】145</p> <p>少子化、高齢化が進み、伝統行事及び担い手不足が懸念される。JR 福光駅に近く、吉江校下の北東部に位置し、県道金沢井波線、砺波福光線が地区に隣接、スーパー農道が中央を縦断して、地域の拠点交通体系は万全である。福光を代表する企業も数社存在し、今後の地域発展が望まれる地区である。</p>	<p>地域の 現状と課題</p>	<p>農業の高齢化と地域内に農振除外区域があることなどから、若者の農業離れが進み、農業を中心とした地域の活動が弱体化してきている。これからは、高齢者と若者が一体となって地域を守っていける自治会組織を作っていくことが必要であり、その課題を整理する時期が今だと考えている。そして、その課題を乗り越えるためには、自治会員の皆さんが共通の恩恵を得る目標に挑戦することである。</p>
<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>①田中自治会自主防災組織の充実と防災必需品の確保に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区に隣接する大井川増水対策 ・宅地化が進む中、用排水の増水対策 ・地震等災害対策 <p>②守り継がれるべき歴史・遺跡・文化の継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十村役得能家、田中仏土寺、田中八幡宮（建立 700 年）の整備 ・故溝口博文氏の郷土歴史資料の保存 ・自治会主体となって講習会・研修会の開催 	<p>事業（活動） 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施（水防、地震等災害） ・訓練マニュアルの作成 ・防災倉庫新設 ●歴史・遺跡・文化継承事業 <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡整備 ・歴史資料保存庫新設 ・当地区の歴史・文化を学ぶ研修会開催

<p>申請団体名</p>	<p>祖谷自治会（福光地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>⑥環境保全、美化、エコなど地球のやさしいまちづくり事業</p> <p>⑦地域の活性化を図る事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】181人 【世帯数】43</p> <p>数年後には高齢化率が50%を超すと推定され、ますます地域・農業等の担い手不足と自治会活動の低迷が懸念される。</p> <p>営農体制は、基本的に「個人経営」であり、平成7年より生産調整（転作）に関しては「協業化」している。農業生産の継続が難しい農家が増加傾向にある。</p>	<p>地域の 現状と課題</p>	<p>後継者が勤務の関係で地区・県外へ出て、「高齢者のみ」の農業世帯が増えており、農業経営（農作業）に係る負担が個々に増大している。加えて、自治会の諸行事に際し、参加者が限定されたり、高齢者が多くなったりすることで十分な成果が得られず、自治会運営に問題が生じ始めている。地域の将来を考えると、「年代」「性別」を超えた（交えた）事業展開（活動）により、自治会（地域）住民全員が「共通の目標」を持つことでこの難局を乗り越えたい。</p>

<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>自治会住民が、世代、性別を超えて作業に参加出来る事業を実施する。</p> <p>①休耕田で「ひまわり」を栽培し、「ひまわり油」生産に取り組み、地域産品で地域の活性化を図る。</p> <p>初年度目標→ひまわり栽培面積：1.0㌖、ひまわり油生産量：150㍓</p> <p>次年度以降、増反、増産を目指す。</p> <p>※ひまわり油生産計画</p> <p>6月～ 播種 開花…ひまわり迷路、写生大会等の開催</p> <p>9月～ 収穫</p> <p>10月～ 搾油、販売等</p> <p>②農道法面（路肩）への「カバープラント植物」の植栽</p> <p>農道法面の草刈作業軽減を図るため、被覆植物を植え付ける。</p> <p>※植栽面積（長さ）毎年800～1000m程度（H23～25年）</p> <p>植栽品目：芝生、もしくはヒメイワダレソウ</p>	<p>事業（活動） 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ひまわりの栽培とひまわり油の生産 <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり迷路の実施 ・切花販売 ・搾油し、瓶詰めしたひまわり油を直売所等にて販売 ・ひまわり油を使った料理等の研究、試食会の開催 ●カバープラント植物の植栽・管理
------------------------	--	----------------------	---

<p>申請団体名</p>	<p>三日町町内会（井波地域）</p>	<p>事業区分</p>	<p>⑤地域資源を活かしたまちづくり事業</p> <p>⑥環境保全、美化、エコなど地球のやさしいまちづくり事業</p>
<p>地域の概要</p>	<p>【人口】58人 【世帯数】19</p> <p>昔は毎月三日に市が開かれた通りとして、三日町の名の由来（八日町などと同じ）がある古くからの町である。町内には文化財『黒髪庵』や、隣接する『浄蓮寺』『芭蕉公園（ちびっこ広場）』そして瑞泉寺への散策道があり、観光客も立ち寄る。</p>	<p>地域の 現状と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和中ごろには38軒有った世帯数も、宅地狭小による転出などで19軒に半減し、にぎやかだった子供たちの声はほとんど聞かれなくなった。また、進学卒業後のUターンも難しく、高齢化率だけが高くなり、限界集落の入り口状態にある。 ・既に青年団も解散し、町内の核となる壮年会も会員数が極小のため、婦人会、老人会など町内一つとなって、ぶつかっていける事業（美化活動、歴史的な文化財・伝統行事の維持、高齢者も安心して住める町づくり）を通し、町内の活性化を図り、担い手となる子どもたちのUターン、Jターンにつながる町づくりが必須となっている。
<p>まちづくりの 基本方向</p>	<p>町内会住民みんなが、楽しく参加し、住みよい活気あるまちづくり事業に取り組むことにより、担い手が増えていくことを期待するとともに、町を訪れる観光客にも満足していただけるまちづくりを行っていく。</p> <p>①町内の美化活動の推進と伝統行事の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財『黒髪庵』と隣接する『浄蓮寺』、『芭蕉公園』の清掃・草刈り、植栽活動を行う。これらを一体として、人々が集う『場』として盛り上げたい。 市文化課との疎通も大切にしていく。 <p>②地域イベントへ参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寺の町アート（作品出品）などへ、積極的参加を行う。 <p>③町内交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵祭りを維持し、三世代交流会を盛り上げていく。 <p>④高齢者支援にも重なる町内行事を定着させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型不燃物、リサイクル品の収集処分 	<p>事業（活動） 内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の美化活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・市文化財黒髪庵の庭園、浄蓮寺、芭蕉公園の清掃・草刈り ・花などの植栽 ・観賞用器具の購入 ●伝統行事の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・涅槃会団子づくり ●地域イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・行燈を作製し、寺の町アートに出品参加する。 ●町内交流活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・地蔵祭りの継続 ・3世代交流会の開催 ●大型不燃物、リサイクル品等の集団回収・処分の実施

申請団体名	竹林北島自治会（福光地域）	事業区分	⑥環境保全、美化、エコなどの地球にやさしいまちづくり事業 ⑦地域の活性化を図る事業																			
地域の概要	<p>【人口】97人 【世帯数】26</p> <p>5年後には高齢化率が45%と推定され、担い手不足が懸念される。平成18年から、営農組合による稲作経営を行っている。生産意欲や技術は高い。</p>	地域の現状と課題	<p>地域全体として、道路法面や畦に景観植物を植え、草刈り作業の回数の軽減を図った。また、毎月のゴミ拾い活動で地域住民が参画し、景観保全に向けた地域活動を進めている。更に継続して、高齢者も含めた元気で生き生きと暮らしていけるような自治会を自分たちで作っていきたいと考える。しかし、高齢化に伴い、自治会会議出席者の減少や婦人会員の減少など、交流の場面が減少し、自治会運営にも問題が生じてきた。この課題に対し、年間を通して、自治会全員が共通の目標を共有し、自らが取り組むことが必須である。</p>																			
まちづくりの基本方向	<p>①自治会住民が、みんなで楽しく仕事に参加できるような事業の実施</p> <p>②高齢者にも参加できるような軽作業であり、食料自給率の向上、休耕田活用にもなる「野菜」の生産、水田景観の充実</p> <p>③生産計画</p> <table border="1" data-bbox="430 674 1222 890"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">野菜</th> <th>景観・緑肥</th> </tr> <tr> <th>白菜</th> <th>枝豆</th> <th>レンゲ、クローバー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9～10月</td> <td>播種</td> <td></td> <td>播種</td> </tr> <tr> <td>3～5月</td> <td>販売</td> <td>播種</td> <td>景観、鋤き込み</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td></td> <td>販売</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・休耕田の活用で土地の有効活用を図る。</p> <p>・景観植物の見学で、地域内外の人との交流を目指す。</p> <p>・作付面積は、野菜は0.2ha、景観は2haとし、次年度以降拡大の予定</p>		野菜		景観・緑肥	白菜	枝豆	レンゲ、クローバー	9～10月	播種		播種	3～5月	販売	播種	景観、鋤き込み	8月		販売		事業（活動）内容	<p>●景観植物（レンゲ、クローバー）の栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開花後には、これらを利用して地区内外の人との交流会を開催 ・ハチミツの収穫、販売 <p>●野菜（白菜、枝豆）の栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春白菜、枝豆（サッポロミドリ）の栽培・収穫 ・市内の八百屋等と連携して販売 ・栽培技術や料理方法向上のための研修会開催 ・収穫した食材を利用した親睦会の開催 <p>●食の感謝祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産食に対する意識の向上を図る。 ・高齢者からの野菜栽培技術等の伝授により、地域の活性化を図る。
	野菜		景観・緑肥																			
	白菜	枝豆	レンゲ、クローバー																			
9～10月	播種		播種																			
3～5月	販売	播種	景観、鋤き込み																			
8月		販売																				